

## 「経済センサス」と「事業所・企業統計調査」

皆さんは、「経済センサス」と「事業所・企業統計調査」という統計調査をご存じでしょうか。

「事業所・企業統計調査」は、我が国における事業所及び企業の産業、従業員規模等の基本的構造を明らかにするとともに、国や地方公共団体における各種行政施策の計画、立案のための基礎資料を得るほか、事業所及び企業を対象とした各種統計調査実施のための母集団情報としての事業所及び企業の名簿を作成することを目的としています。

この調査は、「事業所統計調査」の名称で昭和22年に開始され、平成8年の調査から「事業所・企業統計調査」と名称を変更し、平成18年の調査を最後とし、平成21年から「経済センサス」に統合されました。

「経済センサス」の創設に当たり、多くの企業で経理をはじめ各支店情報を本社が一括管理していることや調査員による外観調査では見つけられない事業所（小さな事務所、自宅兼用事務所や病院の中にある構内事業所等）があること等を踏まえ、新たな調査手法等が導入されました。（表）

しかし、「経済センサス」、「事業所・企業統計調査」のいずれも、我が国すべての事業所を対象として行われる国の最も基本的な統計調査の一つで、目的や調査項目も共通の部分がありますが、新たな調査手法等が導入されたことで、調査対象の捕捉率（把握できる割合）が向上したため、「経済センサス」と「事業所・企業統計調査」との比較を行わないこととしています。平成21年以降の「経済センサス」の調査結果に基づく事業所数及び従業員数は下図のとおりとなっています。（図）

### 【経済センサス創設の経緯】

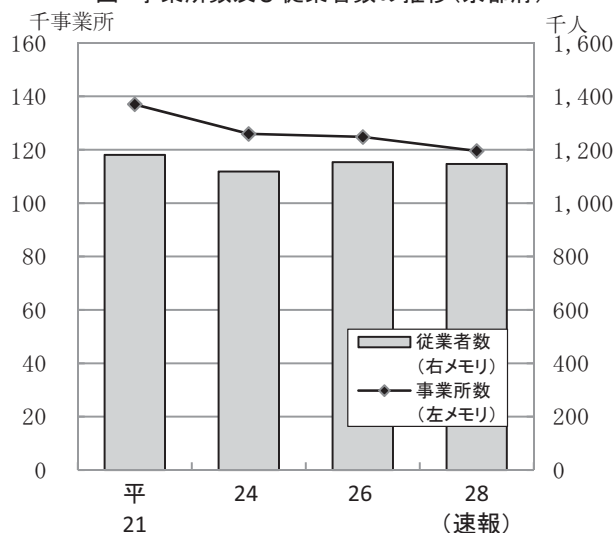
同一時点における我が国全体の包括的な産業構造統計の作成の必要性、国民経済に占める割合が高くなっているサービス分野の統計整備の必要性等から、GDPを推計するための基礎統計として、全産業をカバーする経済に関連した大規模統計調査の統廃合、簡素・合理化を行って、調査が実施されました。

表 「経済センサス」と「事業所・企業統計調査」の調査比較

統計調査名	事業所統計調査	事業所・企業統計調査	経済センサス			
	実施年	昭22～平6	平8～18	平21基礎	平24活動	平26基礎
調査用名簿	事業所・企業統計調査名簿+調査員が把握した情報		事業所・企業統計調査名簿+調査員が把握した情報			
	—		1 各種統計調査(商業統計、工業統計など)の結果 2 本社・本店に照会して把握した情報 3 行政記録(商業・法人登記、労働保険情報など)の名簿情報			
調査方法	調査員調査(訪問):全事業所		調査員調査(訪問):単独事業所			
	—		本社等一括調査(郵送):複数事業所がある企業等=本社・本店が各支店分を一括記入			

新たな調査手法

図 事業所数及び従業員数の推移(京都府)



出典：経済センサス（府企画統計課）